

第 65 期 決 算 公 告

令和 6 年 6 月 24 日

三重県鈴鹿市国府町 7 7 5 4 番地の 1
株式会社ホンダロジスティクス
代表取締役 清水 宏

貸 借 対 照 表 (令和 6 年 3 月 31 日)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部	61,380,537	負 債 の 部	17,517,579
I 流 動 資 産	26,207,304	I 流 動 負 債	14,867,968
現 金 及 び 預 金	3,271,368	電 子 記 録 債 務	632,860
受 取 手 形	25,639	買 掛 金	3,589,498
売 掛 金	10,500,028	短 期 借 入 金	7,962,792
リ ー ス 投 資 資 産	121,028	リ ー ス 債 務	30,432
商 製 品	15,743	未 払 金	252,550
原 材 料	29,902	未 払 費 用	1,105,132
仕 掛 品	25,067	未 払 法 人 税 等	97,107
貯 蔵 品	32,156	未 払 消 費 税 等	154,766
前 払 費 用	531,616	契 約 負 債	22,855
短 期 貸 付 金	272,625	前 受 金	48,806
未 収 入 金	10,813,912	預 り 金	110,103
立 替 金	463,600	預 り 保 証 金	4,910
そ の 他	102,094	賞 与 引 当 金	811,061
	2,519	営 業 外 電 子 記 録 債 務	45,090
II 固 定 資 産	35,173,233	II 固 定 負 債	2,649,610
(有 形 固 定 資 産)	(19,935,004)	リ ー ス 債 務	46,804
建 物	5,842,519	退 職 給 付 引 当 金	2,041,923
構 築 物	1,175,740	役 員 退 職 慰 勞 引 当 金	128,782
機 械 及 び 装 置	522,670	資 産 除 去 債 務	13,278
車 輛 及 び 運 搬 具	341,369	長 期 預 り 保 証 金	54,593
工 具 器 具 及 び 備 品	447,783	物 流 拠 点 再 編 関 連 損 失 引 当 金	364,228
土 地	11,535,873		
リ ー ス 資 産	68,826	純 資 産 の 部	43,862,958
建 設 仮 勘 定	220	I 株 主 資 本	43,832,240
(無 形 固 定 資 産)	(365,233)	資 本 金	1,300,000
電 話 加 入 権	29,615	(利 益 剰 余 金)	(42,532,240)
電 気 通 信 施 設 利 用 権	6	利 益 準 備 金	325,000
水 道 施 設 利 用 権	11,465	(そ の 他 利 益 剰 余 金)	(42,207,240)
電 気 ガ ス 供 給 施 設 利 用 権	76	圧 縮 記 帳 積 立 金	91,658
ソ フ ト ウ ェ ア	324,070	別 途 積 立 金	28,415,000
(投 資 そ の 他 の 資 産)	(14,872,995)	繰 越 利 益 剰 余 金	13,700,582
投 資 有 価 証 券	96,737	II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	30,717
関 係 会 社 株 式	9,066,679	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	30,717
出 資 金	187,478		
関 係 会 社 出 資 金	734,123		
破 産 更 生 債 権 等	60,551		
長 期 前 払 費 用	50,336		
繰 延 税 金 資 産	344,401		
長 期 未 収 入 金	5,169		
敷 金	764,204		
差 入 保 証 金	70,075		
預 託 金	2,549		
前 払 年 金 費 用	3,550,939		
そ の 他 投 資 金	4,800		
貸 倒 引 当 金	△65,051		
合 計	61,380,537	合 計	61,380,537

損 益 計 算 書

〔 自 令和 5 年 4 月 1 日
至 令和 6 年 3 月 31 日 〕

(単位：千円)

科 目	金 額	
営業収入		56,387,645
営業原価		51,148,574
営業総利益		5,239,070
販売費及び一般管理費		3,578,850
営業利益		1,660,220
営業外収益		
受取利息	20,138	
受取配当金	2,968,197	
為替差益	5,913	
その他営業外収益	162,932	3,157,182
営業外費用		
支払利息	5,132	
長期前払費用償却費	7,928	
その他営業外費用	5,840	18,901
経常利益		4,798,500
特別利益		
固定資産売却益	5,233	
投資有価証券売却益	26,906	
物流拠点再編関連損失引当金戻入額	4,790	
静岡台風災害受取保険金	11,906	
原状回復費用 HM保証金	7,797	56,635
特別損失		
固定資産売却損	19	
固定資産廃却損	53,386	
物流拠点再編関連損失繰入	391,500	
静岡台風災害損失	18,480	
賃借解約に伴う原状回復費用	16,919	480,305
税引前当期純利益		4,374,830
法人税、住民税及び事業税	225,618	
法人税等調整額	△388,367	△162,748
当期純利益		4,537,579

株主資本等変動計算書

〔 自 令和5年4月1日
至 令和6年3月31日 〕

(単位：千円)

株主資本			
資本金	当期首残高		1,300,000
	当期変動額		-
	当期末残高		<u>1,300,000</u>
利益剰余金			
利益準備金	当期首残高		325,000
	当期変動額		-
	当期末残高		<u>325,000</u>
その他利益剰余金			
圧縮記帳積立金	当期首残高		97,522
	当期変動額	圧縮記帳積立金の取崩	<u>△5,863</u>
	当期末残高		<u>91,658</u>
別途積立金	当期首残高		28,415,000
	当期変動額		-
	当期末残高		<u>28,415,000</u>
繰越利益剰余金	当期首残高		10,925,138
	当期変動額	圧縮記帳積立金の取崩	5,863
		剰余金の配当	<u>△1,768,000</u>
		当期純利益	4,537,579
	当期末残高		<u>13,700,582</u>
利益剰余金合計	当期首残高		39,762,661
	当期変動額	剰余金の配当	<u>△1,768,000</u>
		当期純利益	4,537,579
	当期末残高		<u>42,532,240</u>
株主資本合計	当期首残高		41,062,661
	当期変動額	剰余金の配当	<u>△1,768,000</u>
		当期純利益	4,537,579
	当期末残高		<u>43,832,240</u>
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金	当期首残高		28,423
	当期変動額	(純額)	<u>2,294</u>
	当期末残高		<u>30,717</u>
純資産合計	当期首残高		41,091,084
	当期変動額	剰余金の配当	<u>△1,768,000</u>
		当期純利益	4,537,579
		株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,294
	当期末残高		<u>43,862,958</u>

個別注記表

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

1) 有価証券

子会社株式及び関連会社株式... 移動平均法による原価法を採用しています。

その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの... 期末日の市場価格等に基づく時価法を採用しています。なお、評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しています。

市場価格のない株式等 ... 移動平均法による原価法を採用しています。

2) デリバティブ

時価法を採用しています。

3) 棚卸資産

商品、製品、原材料、仕掛品、貯蔵品... 最終取得原価法に基づく原価法（貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法により算定）を採用しています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

1) 有形固定資産(リース資産を除く)

... 定額法を採用しています。

2) 無形固定資産(リース資産を除く)

... 定額法を採用しています。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法により処理しています。

3) リース資産 ... 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産についてはリース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しています。

(3) 引当金の計上基準

1) 貸倒引当金 ... 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しています。

2) 賞与引当金 ... 従業員に対して支給する賞与に充てるため、賞与支払予定額のうち当事業年度に属する支給対象期間に見合う金額を計上しています。

3) 退職給付引当金... 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しています。

① 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっています。

② 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

数理計算上の差異は、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により按分した額を、それぞれ発生の翌事業年度から費用処理しています。過去勤務費用は、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により費用処理しています。

4) 役員退職慰労引当金... 役員に対して支給する退職慰労金に充てるため、内規に基づく期末要支給額を計上しています。

5) 物流拠点再編関連損失引当金... 物流拠点の集約・移管に伴い発生する損失見込額を計上しています。

(4) 重要な収益及び費用の計上基準

物流サービスに係る収益は、主に Honda 製品や部品、補修部用品の輸送、梱包、保管、出荷等によるサービスであり、顧客との契約に基づいて物流サービスを提供する履行義務を負っております。輸送、梱包、出荷等の業務については、作業が完了した時点で履行義務が充足されると判断し、作業完了時に収益を認識しております。保管業務については、契約期間にわたり均等に履行義務が充足されると判断し、契約期間にわたり均等に収益を認識しています。

(5) ヘッジ会計の方法

原則として繰延ヘッジ処理によっています。なお、振当処理の要件を満たしている為替予約については振当処理によっています。

II. 会計上の見積りに関する注記

会計上の見積りにより当事業年度に係る計算書類にその金額を計上した項目のうち、翌事業年度に係る計算書類に重要な影響を及ぼす可能性がある項目は、次のとおりです。

(1) 有形固定資産及び無形固定資産の減損

当事業年度の計算書類に計上した金額

有形固定資産	19,935,004 千円
無形固定資産	365,233 千円

当社が保有している有形固定資産及び無形固定資産は規則的に減価償却していますが、減損の兆候があると認められる場合には、資産グループから得られる割引前将来キャッシュ・フローの総額と帳簿価額を比較することによって、減損損失の認識の要否を判定し、必要と判断された場合、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、帳簿価額の減少額を減損損失として認識しています。固定資産の評価は、将来の事業計画に基づく将来キャッシュ・フローによって見積っています。当該見積りは、将来の不確実な経済状況の変動によって影響を受ける可能性があり、実際に発生した将来キャッシュ・フローが見積りと異なった場合、翌事業年度の計算書類において固定資産の減損損失の計上額に重要な影響を与える可能性があります。

(2) 繰延税金資産の回収可能性

当事業年度の計算書類に計上した金額

繰延税金資産	344,401 千円
--------	------------

繰延税金資産の算出に関しては、当社は将来の事業計画により見積られた将来の課税所得に基づき当期実績を踏まえ、実現可能性の高いシナリオを考慮した金額を算出し、計上しています。課税所得が生じる時期及び金額は、将来の不確実な経済状況の変動によって影響を受ける可能性があり、実際に課税所得が生じた時期及び金額が見積りと異なった場合、翌事業年度の計算書類において繰延税金資産を認識する金額に重要な影響を与える可能性があります。

(3) 物流拠点再編関連損失引当金

当事業年度の計算書類に計上した金額

物流拠点再編関連損失引当金	364,228 千円
---------------	------------

物流拠点の集約・移管に伴い発生する損失に備えるため、損失見込額を計上しています。当該引当金は、決算日における債務に関するリスク及び不確実性を考慮に入れた債務の決済に要する支出の最善の見積りに基づき計上しています。債務の決済に要する支出額は、将来の起こり得る結果を総合的に勘案して算定していますが、予想し得ない事象の発生や状況の変化によって影響を受ける可能性があり、実際の損失が見積りと異なった場合、翌事業年度の計算書類に重要な影響を与える可能性があります。

Ⅲ. 会計上の見積りの変更に関する注記

有形固定資産の償却期間変更

当事業年度の計算書類に計上した金額

有形固定資産減価償却費	羽山ロジスティクスセンター	30,928 千円
	鈴鹿寮	165,363 千円

当社拠点である羽山ロジスティクスセンターならびに鈴鹿寮は翌事業年度に解体を予定しているため、使用可能期間の見直しを行いました。この変更に伴い、当事業年度の減価償却費が増加し営業利益、経常利益及び税引前当期純利益が同額減少しております。

拠点名	使用可能期間（うち当期分）
羽山ロジスティクスセンター	12 ヶ月（7 ヶ月）
鈴鹿寮	14 ヶ月（11 ヶ月）

翌事業年度の計算書類に影響する金額

有形固定資産減価償却費	羽山ロジスティクスセンター	26,391 千円
	鈴鹿寮	45,108 千円

Ⅳ. 貸借対照表に関する注記

(1) 担保に供している資産及び担保に係る債務

担保に供している資産

建物	936,203 千円
土地	679,729 千円

(2) 資産に係る減価償却累計額

有形固定資産の減価償却累計額 26,559,577 千円

(3) 保証債務

「ホンダ住宅共済会」会員である当社の従業員の銀行借入について Honda の保証に基づく求償権の履行に対する債務 82,233 千円

(4) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

短期金銭債権	18,022,437 千円
短期金銭債務	9,478,993 千円

Ⅴ. 損益計算書に関する注記

(1) 関係会社との取引高

営業取引による取引高の総額	48,617,380 千円
営業取引以外の取引による取引高の総額	3,065,174 千円

(2) 投資有価証券売却益

八千代工業株式会社（以下八千代）の完全子会社化を目的とした、Honda の八千代株式公開買付に伴い、株式会社ホンダロジスティクスで所有している八千代株式の売却に伴い発生した売却益を計上しています。 26,906 千円

(3) 物流拠点再編関連損失引当金戻入額

埼玉地区の物流拠点再編（狭山⇒寄居）に伴い発生する賃借倉庫の原状回復費用及び原状回復期間の賃借料の損失見込額を計上した物流拠点再編関連損失引当金について、物流拠点再編関連費用が確定しましたので、損失見込額との差額を物流拠点再編関連損失引当金戻入額として計上しています。 4,790 千円

(4) 静岡台風災害受取保険金

静岡地区において、2022 年 9 月 23 日に台風により発生した、森ロジスティクスセンター内への土砂流入災害に対する復旧工事費用の保険金入金額を計上しています。 11,906 千円

(5) 原状回復費用 HM保証金
 青柳Bモータープール退去に伴う原状回復費用のうち、Honda 負担分を計上して
 います。 7,797 千円

(6) 物流拠点再編関連損失繰入
 物流拠点の集約・移管に伴い発生する賃借物件の原状回復費用及び原状回復期間の
 賃借料見込額を引当金として計上するとともに、自社物件の羽山ロジスティクス
 センター・鈴鹿寮の解体費用を計上しています。

賃借物件の原状回復費用及び原状回復期間の賃借料（見込み額）	293,910 千円
羽山ロジスティクスセンター、鈴鹿寮解体費用	97,590 千円
計	391,500 千円

(7) 静岡台風災害損失
 静岡地区において、2022 年 9 月 23 日に台風により発生した、森ロジスティクス
 センター内への土砂流入災害に対する復旧工事費用を計上しています。 18,480 千円

(8) 賃借解約に伴う原状回復費用
 青柳Bモータープール退去に伴う原状回復費用及び原状回復期間の賃借料見込額を
 引当金として計上しています。 16,919 千円

VI. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当事業年度の末日における発行済株式の数 普通株式 26,000,000 株

(2) 配当に関する事項

1) 配当金支払額

決議	株式の 種類	配当金の 総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日
令和5年6月23日 定時株主総会	普通 株式	962,000 千円	37.00 円	令和5年3月31日	令和5年6月26日
令和5年10月24日 取締役会	普通 株式	806,000 千円	31.00 円	令和5年9月30日	令和5年12月25日

2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決議	株式の 種類	配当金の 総額	配当の 原資	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日
令和6年6月21日 定時株主総会	普通 株式	2,236,000 千円	利益 剰余金	86.00 円	令和6年3月31日	令和6年6月24日

VII. 税効果会計に関する注記

(1) 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生原因に関する事項

繰延税金資産の発生の主な原因は、退職給付引当金加算額、賞与引当金加算額、
 物流拠点再編関連損失引当金加算額であり、繰延税金負債の発生の主な原因は、
 前払年金費用減算額及び圧縮記帳積立金等です。

なお、繰延税金資産から控除された金額（評価性引当金）は、416,894 千円です。

(2) グループ通算制度の適用に関する事項

当社は、本田技研工業株式会社を通算親法人としてグループ通算制度を適用していま
 す。また、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」
 （実務対応報告第 42 号 2021 年 8 月 12 日）に従って、法人税及び地方法人税の
 会計処理またはこれらに関する税効果会計の会計処理並びに開示を行っています。

Ⅷ. リースにより使用する固定資産に関する注記

貸借対照表に計上した固定資産の他、流通加工設備・車輛及び運搬具の一部及び電子計算機器の一部等については、所有権移転外ファイナンス・リース契約により使用しています。

Ⅸ. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定し、銀行等金融機関からの借入により資金を調達しています。また、支払利息の発生を抑えるためグループ内で資金の一元管理（キャッシュマネージメントシステム）を行っています。

営業債権である受取手形及び売掛金は、顧客の信用リスクに晒されていますが、取引先の期日及び残高を管理するとともに、主要な取引先の状況を毎月モニタリングすることで、債権回収懸念の早期把握や軽減を図っています。なお、その一部には外貨建債権があり為替の変動リスクに晒されています。また、貸付金のうち短期は主にキャッシュマネージメントシステムによるものであり、変動金利のため金利の変動リスクに晒されています。金利の変動リスクについては、定期的に金利の動向を把握することにより管理しています。投資有価証券は株式であり、上場株式については市場価格の変動リスクに晒されていますが、定期的に時価の把握を行っています。

営業債務である支払手形及び買掛金は、すべて1年以内の支払期日となっています。なお、その一部には外貨建債務があり為替の変動リスクに晒されています。また、借入金のうち短期は主に運転資金用であり、変動金利のため金利の変動リスクに晒されています。金利の変動リスクについては貸付金同様、定期的に金利の動向を把握することにより管理しています。資金調達に係る流動性リスクについては、月度毎に資金計画表を作成、更新することで管理しています。

デリバティブ取引は内部管理規程に従い、主に外貨建営業債権債務に対する為替変動リスクを回避することを目的とした先物為替予約であり、投機的な取引は行っていません。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

令和6年3月31日（当期の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については次の通りであります。なお、市場価格のない株式等（貸借対照表計上額9,105,589千円、うち関係会社株式9,066,679千円）、出資金187,478千円及び関係会社出資金734,123千円は、「その他有価証券」には含めておりません。また、現金は注記を省略しており、預金、受取手形及び売掛金、短期貸付金、支払手形及び買掛金、電子記録債務、短期借入金は短期間で決済されるため時価が帳簿価格に近似することから、注記を省略しています。

（単位：千円）

	貸借対照表 計上額	時価	差額
投資有価証券 その他有価証券	57,827	57,827	-

（注）投資有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっています。

X. 関連当事者との取引に関する注記

(1) 親会社等

(単位：千円)

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	本田技研工業(株)	被所有 直接 100%	物流サービス の提供	海外向け部品 包装業務等	35,371,231	売掛金	6,717,374
				資金借入(注)	6,300,000	短期貸付金	10,313,912
				資金貸付(注)	9,804,091		

取引条件及び取引条件の決定方針等

※ 取引条件は、一般取引先と同様に決定しております。

※ 取引金額には消費税等を含めておりません。期末残高には消費税等を含めております。

(注) CMS (キャッシュマネジメントシステム) によるものです。

利率は0.04%~0.07%であり、返済期限や担保提供はありません。

(2) 子会社及び関連会社等

(単位：千円)

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
子会社	(株)ホタテテクノ	所有 直接 100%	物流サービスの 受入 役員兼任	資金借入(注1) 資金貸付(注1)	5,953,159 5,100,000	短期借入金	4,933,551
	(株)ベストロジ三重	所有 直接 100%	物流サービスの 受入 役員兼任	資金借入(注1) 資金貸付(注1)	1,936,748 1,697,943	短期借入金	520,640
	(株)ベストロジ静岡	所有 直接 100%	物流サービスの 受入 役員兼任	資金借入(注1) 資金貸付(注1)	362,952 346,021	短期借入金	266,065
	(株)ベストロジ埼玉	所有 直接 100%	物流サービスの 受入 役員兼任	資金借入(注1) 資金貸付(注1)	969,813 747,988	短期借入金	354,710
	(株)ベストロジ栃木	所有 直接 60% 間接 40%	物流サービスの 受入 役員兼任	資金借入(注1) 資金貸付(注1)	389,879 383,022	短期借入金	1,315,291
	(株)ベストロジ熊本	所有 直接 100%	物流サービスの 受入 役員兼任	資金借入(注1) 資金貸付(注1)	627,902 540,177	短期借入金	29,730
	(株)ベスト・トランスポート	所有 直接 100%	物流サービスの 受入 役員兼任	資金借入(注1) 資金貸付(注1)	744,600 614,022	短期借入金	542,802
	ホタテ自動車販売(株) 浜松	所有 直接 100%	役員兼任	-	-	破産更生債権等 (注2)	60,551
	LSL TRANSPORTES LTDA. (ブラジル)	所有 間接 100%	役員兼任	資金返済(注3)	410,663	短期貸付金	500,000

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) CMS (キャッシュマネジメントシステム) によるものです。

利率は0.22%~0.32%であり、返済期限や担保提供はありません。

(注2) 破産更生債権等に対し、60,551千円の貸倒引当金を計上しています。

(注3) 資金の貸付の取引条件及び取引条件の決定方針等については、市場金利を勘案して利率を決定しております。

X I. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額

1,687円03銭

1株当たり当期純利益金額

174円52銭

X II. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

X III. 収益認識に関する注記

収益を理解するための基礎となる情報

「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「重要な収益及び費用の計上基準」に記載の通りです。